

TEAMさくらまち

自ら学び 自ら考え 自ら行う

令和7年12月4日

長崎市立桜町小学校 校長 片岡 勝志



「桜っ子くんち」を終えて

今年度の「桜っ子くんち」も、皆様の多大なご理解とご協力のおかげで、無事に終えることができました。心より感謝申し上げます。今年は、例年よりも早くインフルエンザが流行し、ちょうど「桜っ子くんち」の準備期間と重なってしまいました。稽古期間中には欠席者が非常に多く、残念ながら学年閉鎖の措置をとらざるを得ない学年もありました。人がなかなか揃わない中、子供たちは少ない人数で互いをカバーし合いながら、一生懸命に稽古に励んでくれました。この頑張る姿に、私たち学校職員も「何とか本番を実現させたい」という思いを強くいたしました。

一度は全学年での開催を模索したもの、図らずも6年生にインフルエンザの大きな波が押し寄せ、やむを得ず6年生については延期といたしました。その結果、今年の「桜っ子くんち」は、11月23日（1～5年生）と12月1日（6年生）の2日間に分けた分散開催となりました。皆様には、異例の分散開催にご理解とご協力をいただき、重ねて感謝申し上げます。（画像提供：タシロフォートスタジオ）

11月23日（パートI）

1年生から5年生までの子供たちが、短い練習期間で培った成果を存分に発揮し、素晴らしい演技を披露してくれました。

1年
本踊



1年生みんなで本踊りをしました。初めはドキドキしてたけど、だんだん落ち着いてきました。本踊りが面白いからまた踊りをしたいです。家族みんなが来てくれたのでやる気が出ました。2年生でも頑張ります。（1年児童）

2年
唐人船



今日は私は、長采で口上を言いました。でも見に来てくれるおうちの方々がたくさんいて、緊張しながら口上を言いました。桜っ子くんちが成功してよかったです。家に帰ったら、ほめられて嬉しかったです。（2年児童）

3年
川船



（裏面に続く）

練習では、「いつもよりだめな点がいっぱいです。」と言われるたびに、私は胸がドキッとしていました。でも本番は先生から、「いつもよりすごくよかったよ。」と言われて、私は「本番だから力を出し切っていたんだな」と思いました。私も練習よりはすごくよかったなと思いました。今年の桜っ子くんちはとても楽しかったです。そして、リハーサルも川船の練習もできなくて、私はできるか心配だったけど、みんながいつもより頑張ってくれたおかげで楽しくできました。(3年児童)

4年
桜っ子神輿



初めておみこしを見た時、とても重そうだなと思いました。でも実際にみんなで担いでみると、思ったより軽くて安心しました。練習では最初は上下に上げるのがきつかったけど、練習を重ねるうちに力がついてきたのか、少しずつ楽にできるようになりました。いよいよ本番、すごく緊張するのかと思っていたけど、ワクワクの方が大きく、楽しく元気におみこしを担ぐことができました。(4年児童)

5年
龍踊



みんなが一斉に全力で頑張るとすごい力になることを学んだ。以前はきつかったらやめてしまうこともあったが、続けてしっかりと頑張れるようになりました。これからは勉強などで分からぬ時にしっかりとみんなと協力して取り組むこと、何かできないものがあってもあきらめずにしっかりと最後までやりきることを心がけたい。(5年児童)

12月1日（パートⅡ）

延期となった6年生の発表は、全校児童が体育館に入り、保護者や地域の皆様と共にその雄姿を見守りました。6年生からはみなぎる気合が伝わり、息の揃った迫力ある演技を披露してくれました。

6年
太鼓山



気合チームの最後のコッコデショを上げる時に、みんなが大きな声を出していた。そうすると、みんなの心が一つになって、一番きれいに高く太鼓山が上がったことに気づいた。以前、私はきついと声は出されけれど、力を抜いてしまったり、人任せになってしまふときがあった。しかし、稽古を重ねるにつれて、きつくても声を出し、力を抜かずに稽古をするようになってきた。人任せにしない自分になった。協力することの大切さは普段の学校生活（当番など）で生かし、励まし合うことは冬の持久走大会で友達と励まし合いたいと思う。小学校生活最後の桜っ子くんちを、悔いのない桜っ子くんちにできたから、残りの学校生活も楽しく過ごしたい。(6年児童)

「長崎の伝統文化を体験させたい」「みんなで力を合わせて一つのものをつくり上げる感動を体験させたい」という、地域の皆様の熱い想いが形となり、大切に育まれてきた「桜っ子くんち」。今年は困難な状況下での分散開催となりましたが、多くの方々の多大なお力添えのもと、この大切な伝統行事を開催することができました。改めまして、温かいご支援をくださった保護者の皆様、地域の皆様に、心より感謝申し上げます。